

令和6年度 文教厚生委員会 県外視察の概要

1 参加委員

立川 了大（委員長）、竹内 義了（副委員長）、木下 賢功、井下 泰憲、
長池 文武、近藤 諭、坂口 誠治

2 視察日程及び視察箇所

視察日程	視 察 箇 所
7月30日(火)	介助犬総合訓練センター～シンシアの丘～ (愛知県長久手市)
7月31日(水)	愛生館グループ 複合施設コリン (愛知県碧南市)
	瀬戸SOLAN小学校 (愛知県瀬戸市)
8月1日(木)	茨木市学校教育推進課 (大阪府茨木市)
	チャイルド・ケモ・ハウス (兵庫県神戸市)

3 調査目的及び視察概要

(1) 介助犬総合訓練センター～シンシアの丘～ (愛知県長久手市)

(調査目的)

シンシアの丘は、手や足に障がいのある方の日常生活動作をサポートする介助犬専門の育成施設である。介助犬の数は2023年4月時点で全国53頭と少なく、介助犬のことが広く知られていない現状があり、シンシアの丘を運営する日本介助犬協会では、介助犬の認知度上昇、社会への受け入れの推進のための活動を行っている。そこで、介助犬の育成や普及・啓発活動を通じて障がい者の自立を支える、当施設の取組について調査する。

(視察概要)

シンシアの丘における介助犬の育成や普及・啓発活動の説明を受け、施設内を視察しました。



(2) 愛生館グループ 複合施設コリン (愛知県碧南市)

(調査目的)

複合施設コリンは、認定こども園、高齢者デイサービス、児童発達支援事業所、放課後等デイサービスを併設し、多世代交流や地域コミュニティの拠点となることを目指している。

そこで、当施設における「0歳から100歳まで、誰もが住みやすい街」づくりのための取組について調査する。

(視察概要)

複合施設コリンにおける「0歳から100歳まで、誰もが住みやすい街」づくりについて説明を受け、施設内を視察しました。



(3) 瀬戸 SOLAN 小学校 (愛知県瀬戸市)

(調査目的)

瀬戸 SOLAN 小学校では、社会問題を世界の一市民として捉え、よりよく解決するために自ら行動する「グローバルシチズンシップの育成」を目指している。ゼミ形式で行う探求学習では、フィールドワークの報告をiPadからスクリーンに映し行うなど、積極的なICTの活用にも取り組んでいる。

そこで、当校におけるICTを活用した探求学習やグローバルプログラムについて調査する。

(視察概要)

瀬戸 SOLAN 小学校におけるICTを活用した探求学習について説明を受けた後、授業を見学しました。



(4) 茨木市学校教育推進課 (大阪府茨木市)

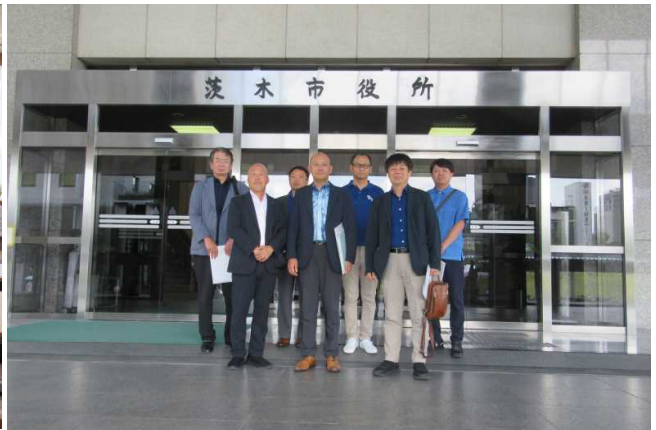
(調査目的)

茨木市では、点数では測れない子供の内面の力(非認知能力)を「茨木っ子力」と名付け、その育成に重点を置くことで、自分なりの考えを育み、教科の学力(認知能力)の向上につなげている。

そこで、茨木市における全ての子供の学力を向上させる「一人も見捨てへん」教育について調査する。

(視察概要)

茨木市学校教育推進課における非認知能力の育成について説明を受けました。



(5) チャイルド・ケモ・ハウス（兵庫県神戸市）

(調査目的)

チャイルド・ケモ・ハウスは、小児がんや難病の子供と家族が滞在できる、病院と家の中間的施設である。近隣の高度医療機関で治療を受ける患児と家族が、治療中、治療の合間に一緒に過ごすことができる自宅のような環境を提供している。

そこで、当施設における患児と家族のQOLに配慮した取組について調査する。

(視察概要)

チャイルド・ケモ・ハウスにおける患児と家族のQOLに配慮した取組について説明を受けた後、施設内を視察しました。

